

カンボジア スバイリエン州スバイチュルン郡 女性による野菜の共同生産・出荷を通じた農村振興プロジェクト

期間：2007年1月～2009年12月 対象地区：5地区 20村

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
スーパーゴール 活動対象村において、野菜の地産地消により、人々の生活状況が向上する。	各村において、共同出荷された野菜の販売総量が増加する。	調査	
上位目標 野菜の共同出荷が、女性組合によって運営されている。	女性組合が相互扶助活動を継続するために必要な資金を調達する仕組みが確立する。	女性組合帳簿 女性組合活動記録	
プロジェクト目標 野菜の共同出荷の仕組みが女性組合によって確立される。	1. 先行14村の女性組合の資本金が、野菜の共同出荷により増加する。 2. 新規対象6村で、野菜の共同出荷が開始される。	女性組合活動記録	1. 自然災害、政変がない 2. 農産物の大きな価格変動がない
期待される成果 0. 対象村の状況が把握される。 1. 野菜共同出荷の普及モデルが工夫される。 2. 野菜共同出荷をリードする人材が育成される。 3. 生産者の、売るための野菜栽培技術が向上する。 4. 野菜が継続的に出荷され、販売される。 5. スバイリエン州農業局との情報交換網が強化される。	0. 基礎調査の結果が報告され共有される。 1-1. 女性組合により、普及モデルのルールや規約が作られる。 1-2. 野菜共同出荷が定期的に行われている。 1-3. 野菜が定期的に仲買人によって出荷される。 2. 女性組合が組織のゴールを設定し年次計画を作る。 3-1. 女性組合のガイドラインに沿って野菜が生産されている。 3-2. 技術委員会のメンバーがスバイリエン州農業局から得た技術情報を女性組合メンバーと共有している。 4. 各グループの野菜販売収入が向上する。 5. スバイリエン州農業局との定期協議が3年間で10回以上、開催される。	0. プロジェクト報告書 1-1. 規約書 1-2. 取引記録 1-3. 取引記録 2. 女性組合活動記録 3. 女性組合活動記録 4-1. 女性組合活動記録 4-2. 市場調査データ 5-1. プロジェクト報告書 5-2. 議事録	1. プロジェクトサイトが早魃などの異常気象に見舞われない。 2. 対象村でNGO間の情報が共有されている。 3. 農産物の市場価格の大暴落がない。
活動内容 0-0. ベースラインサーベイを実施する。 1-1. 実験村4つを選考する。 1-2. 試験的に生産と共同出荷を開始する。 1-3. 実験結果を評価する。 1-4. 普及モデルを工夫する。	投入 【日本側】 プロジェクトマネージャー1名 プロジェクトコーディネーター1名 農業普及員3名 地域開発普及員4名 会計1名	【カンボジア政府側】 州野菜技術専門家 会議室	前提条件 ・ 地区長、村長、村人が事業実施に賛成している。 ・ 事業助言員会が組織されている。

<ul style="list-style-type: none">2-1. マネージャーを選考する。2-2. マネージメント研修を行う。2-3. 情報交換会を開催する。2-4. 女性組合の全活動を参加型で評価する会議を開催する。3-1. 生産者グループからテクニカルリーダーを選考する。3-2. 技術委員会を組織する。3-3. 栽培トレーニングを定期的に行う。3-4. 女性組合が苗の育成、種の採取ができるようサポートする。3-5. 技術交換のための訪問を実施する。4-1. 販売チームを組織する。4-2. 販売チームの市場調査を支援する。4-3. 販売チームの営業活動を支援する。4-4. スバイリエン州農業局と共同で農業祭を開催する。5-1. 農民フォーラムに参加する。5-2. 州情報共有委員会に参加する。5-3. プロジェクト助言委員会と定期的に会議を開催する。5-4. スバイリエン州農業局と協力して、女性組合メンバーに対し、農業情報を提供する。	販売普及員 1名 国内担当 1名	
---	---------------------	--